

デジタルスポーツコンテンツ体験 提供コンテンツ概要

 <p>AI スポーツ適性診断 「DigSports」</p>	<p>画面に合わせて体力測定の実行だけで、AI がその人に「向いているスポーツ」を70種以上の競技からおすすめ。普段着のまま5分程度の実施で結果が分かる手軽さが好評です。時に思わぬ適正を提案し、自分では分からない診断が出るゲーム性は、子どもの可能性を知りたい親の心理のみならず、大人自身の運動意欲も駆り立てます。</p> <p>(提供：電通総研)</p> 
 <p>AI 姿勢・動作分析 「Sportip Pro」</p>	<p>iPad、iPhone 内蔵カメラでのモーションキャプチャを元にAIで姿勢と動作の分析を行う最新アプリです。身体の歪みや部位の問題点だけでなく、将来の姿勢予測・リスクまで分析します。対策としておすすめのトレーニング法を膨大なメニューから自動生成し、1秒で提供可能です。</p> <p>(提供：Sportip)</p> 
 <p>VR 野球シミュレーション 「V-BALLER」</p>	<p>ボールの解析データと投球フォームの映像で、現実さながらにVR空間で実試合の投球を完全再現。選手毎のタイミング・投手・球種・コースの得意不得意・ボールの見極めの把握が客観的に可能に。プロ野球から少年野球まで、またエンタテインメント仕様でも活用されています。</p> <p>(提供：NTT データ)</p> 



VR サッカートレーニング
「REZZIL」

様々な練習メニューをこなし、サッカー選手の認知スキルを伸ばすバーチャルトレーニングシステムです。イギリスのスタートアップが開発し、英プレミアリーグのクラブも活用。スタジアムでプレイするような没入感が味わえます。ボールを蹴ったことがない女性やシニア層らも疑似体験ができ好評です。

(提供：共同通信デジタル)



ループ型動作トレーニング
「Loop Training System for 部活」

搭載の「お手本動作(16 競技 135 動作)」と自らの動作との差を確認し、その前後動作も比較する事で上達を実感。課題を可視化し改善へ導く未来型のトレーニングツールです。

トレーニングメニューも豊富で、初級・中級者の上達を効率的にサポート。部活動での指導の効率化・標準化と質の向上に期待され、「DXハイスクール^{*}」にも採用されています。

(提供：TOPPAN)

※ 文部科学省が実施する高等学校 DX
加速化推進事業 (DX ハイスクール)
の採択校



※当日は映像展示のみ



AR 式室内運動プラットフォーム
「DIDIM」

床に投影された映像を見ながら直感的かつ足や手を使って全身運動ができる、韓国発の最新鋭レクリエーション機器です。拡張現実を用いて様々なエクササイズや脳トレなどのモードが搭載されており、お子様からお年寄りまで幅広い世代で楽しめます。

(提供：コミュニティネットワークセンター (CNCI))

